使用方法

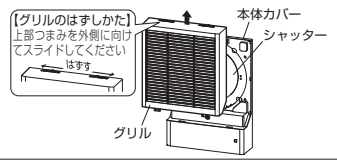
連動させた換気扇（レンジフードファンなど）が運転を開始すると、この電動給気シャッターが開き、自然給気を行います。
また、シャッターが開いた場合、確認ランプが点灯します。停止すると連動してシャッターが閉じて、確認ランプが消灯します。

お手入れ

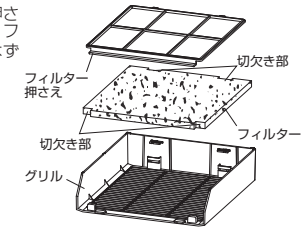
グリル・本体カバーやフィルターにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、約2 か月に 1 回を目安に清掃してください。

1. 各部品のはずしかた

（1）グリル上部の左右のつまみを外側に移動させてロックをはずし、グリルを上側へ引き抜く。



（2）フィルター押さえをはずし、フィルターをはずす。



2. フィルターの清掃

ほこりを掃除機で吸い取るかぬるま湯（40℃以下）で軽く押し洗いする。
フィルターの交換は清掃 5 ～ 6 回を目安に新しい交換フィルターと交換する。
交換用フィルター形名：P-18QDF2

3. グリル・本体カバーの清掃

中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

お願い

- **連動しているレンジフードファンなどを停止し、本製品の運転を停止してください。**
- **お手入れに下記の溶剤・洗剤等を使用しないでください。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色する原因）
- **本体カバーは取りはずさないでください。**
- **お手入れの際シャッター部およびバネに触らないでください。**（故障の原因）
- **フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。**
- **フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますのでフィルターを入れ忘れないようにしてください。**
- **フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。**
- **交換用フィルターは純正品をご使用ください。**

4. お手入れ後の取付け

（1）フィルターをグリルにフィルター押さえで取付ける。
※フィルターとフィルター押さえには方向性があります。「1. 各部品のはずしかた」を参照してください。
（2）グリルを取付ける。
詳細は「本体カバー・グリルの取付け」の 5 項を参照して取付けてください。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この電動給気シャッター（フィルター付）の補修用性能部品を製造打切り後 □年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
ただし、その後 □年間は補修用同種部品または交換可能な同種製品などを供給します。

■優良住宅部品（BL）について

この電動給気シャッター（フィルター付）は一般財団法人ベターリビングにより優良住宅部品の認定を受けたもので、BL マーク証紙を貼り付けてあります。優良住宅部品が住宅に据え付けられ引き渡されたのち 2 年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。
また、下記特定部分については優良住宅部品が住宅に据え付けられたのち、5 年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	室内側換気口 （ただし、モーター等電動機構部品、除く）

ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。

1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
□. メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
□. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
□. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
□. 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
□. 消耗品の消耗に起因する不具合
□. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。

1402875HJ3601

MITSUBISHI

優良住宅部品「BL」認定

電動給気シャッター（フィルター付）

形　名

P-18QDLF6-BL

据付・取扱説明書

この電動給気シャッターは気密性の高い建物で汚れた空気を排気するときに必要な新鮮な外気を取入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇に連動させて使用するものです。
■取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
■取付けは販売店・工事店様が実施してください。

取付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

優良住宅部品（BL）について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている住宅部品については、一般財団法人ベターリビングの BL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

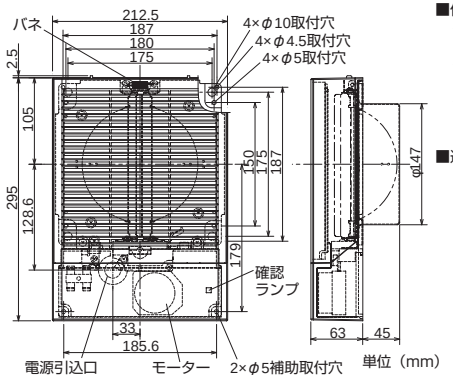
⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

取付時	指示に従う	●**電動給気シャッターがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける** 接続されていると漏電した場合、火災の原因。
		●**漏電しゃ断器を取付ける** 故障や漏電のときショートや感電の原因。
		●**外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ** 一酸化炭素中毒を起こす原因。
	アース確認	●**アースを確実に取付ける** 取付けないと故障や漏電のときに感電の原因。
取付時・使用時	指示に従う	●**交流100Vを使用する** 交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。
	水ぬれ禁止	●**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショートや感電の原因。
	分解禁止	●**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因。
使用時	禁止	●**本体カバー・グリルを取付けない状態でシャッターの運転を行わない** 感電やけがの原因。
	指示に従う	●**お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る** 感電やけがの原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

取付時	禁止	●**直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない** 火災の原因。
	浴室取付禁止	●**浴室など湿気の多い場所には取付けない** 感電および故障の原因。
	指示に従う	●**本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがの原因。
		●**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者（電気工事士）が安全・確実に行う** 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
		●**本体の取付位置はガス機器の設備基準に従って炎の立消え等ガス機器への悪影響のない位置で室内が良く換気される位置とする** 炎の立消え等で一酸化炭素中毒を起こす原因。
		●**屋外側に雨水がかかる場合は、システム部材のフードを取付ける** 雨水の浸入による感電・火災や家財などを濡らす原因。
取付時・使用時	指示に従う	●**取付け、お手入れの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因。
		●**部品の取付けは確実に行う** 落下によりけがの原因。
使用時	禁止	●**本体に異常な振動が発生した場合は使用しない** 本体・部品の落下によりけがの原因。
	接触禁止	●**運転中は危険ですから、シャッターの中に指や物を入れない** けがの原因。
	指示に従う	●**長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

外形寸法図



■付属部品
- 本体カバー取付ネジ（4 × 10）……1 本（本体背面にテープ固定）
- 本体カバー取付ネジ（4 × 8）……4 本
- 表示シール……1 枚

台所換気扇連動給気口

■適用パイプ
φ 150

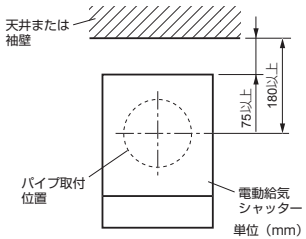
お願い

- この電動給気シャッターは防火ダンパーとして使用することはできません。
- フィルターのメンテナンスができる場所に取付けてください。
- 下記環境下では、結露水が滴下することがありますので乾いた布で拭き取ってください。（運転中に滴下する場合は、必ず分電盤のブレーカーを切り、運転を停止した状態で拭き取ってください）
  室外温度－ 5℃を下回り、かつ室内温度が 15 ～ 20℃・室外湿度 45%RH 以上
- 風雨の強いときなど雨が室内に浸入するおそれがあるため、連動ファンを停止し、シャッターを閉じてください。
- モーター、確認ランプは使用状況により寿命が短くなる場合がありますので、消耗部品としてお考えください。
- 40℃以上の高温となる場所で使用しないでください。
- 屋外環境（塩害地区、工業地域など）により錆が発生する場合があります。
- 外気（冷気）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選び、屋外側にはフードを取付けてください。（例えば屋外側に軒のある場所や通路灯から離れた場所）
- 風の強い所では、深形フードや耐外風高性能フードをおすすめします。
- 製品据付時にはシャッターに触れないでください。

据付方法

取付け面の材質により取付け前の準備が異なりますので下記により取付け準備を行ってください。
取付け用ネジ、ナット、プラグ、アンカーボルトはステンレス製を使用しないでください。（電食をおこし、錆びるおそれがあります）
石こうボードや薄壁に木ネジのみで製品を直接固定しないでください。（木ネジが利かないことで製品が落下します）
本体の変形や壁面とのすき間がないことを確認してください。

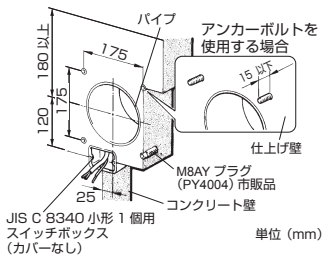
取付け前の注意



お願い
- **お手入れの際、グリル上部のつまみを操作するため上部のすき間が 75mm 以上の確保が必要です。そのため、パイプ取付位置を中心から天井または袖壁に対して 180mm 以上離れた位置に設けてください。**

取付け前の準備

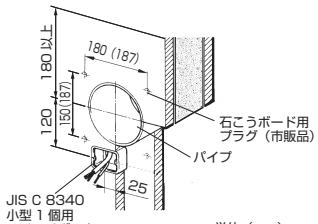
コンクリート壁の場合



1. 壁にパイプ（スパイラル管など）用の穴をあけパイプを埋め込み、モルタルなどで固定する。
2. 4 か所の取付位置にφ 14 深さ 47mm の穴をあけ、市販の M8AY プラグ（PY4004）を挿入し、打ち込む。
3. 屋内配線を JIS C 8340 小形 1 個用スイッチボックス（カバーなし）を介して速結端子に接続できるよう引き込む。

お願い
- **パイプは室内側壁面から出ないように固定してください。**
- **アンカーボルトを用いて施工する際、仕上げ壁面から 15mm 以上突出しないでください。**（本体カバーが取付けできなくなります）

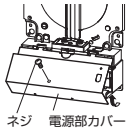
石こうボード・板壁（薄板を含む）の場合



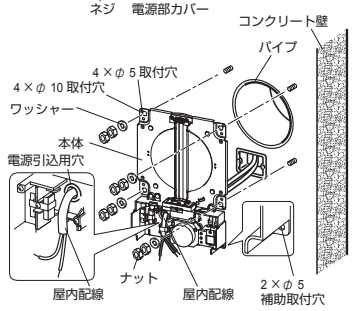
1. コンクリート壁と同様取付位置にパイプを固定する。
2. 左図の取付位置に市販の石こうボード用プラグ（φ 5 穴用）を取付ける。
3. 屋内配線を JIS C 8340 小形 1 個用スイッチボックス（カバーなし）を介して速結端子に接続できるよう引き込む。

お願い
- **パイプは室内側壁面から出ないように固定してください。**
- **板壁に製品を直接取付ける場合、取付面板厚が 20mm 以上になるよう補強板（お客様手配）を取付けてください。**

本体の取付け



1. 電源部カバーのネジ 1 本をはずして、上側に回転させて引き抜く。
   - はずしたネジは後で使うので、無くさないよう保管しておいてください。



2. 屋内配線を電源引込用穴から引き込む。
3. 本体を固定する。

コンクリート壁の場合
本体をパイプに差し込み、市販の M8AY ボルト（PY4004）でφ 10 取付穴を用いて固定する。

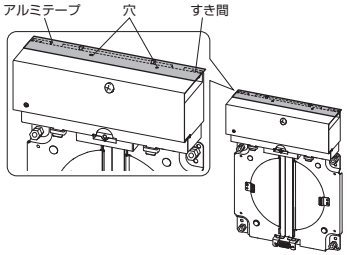
お願い
- **製品をナットで固定する場合はダブルナットなどによりゆるみ止めを施してください。**

石こうボード・板壁の場合
本体をパイプに差し込み、市販の石こうボード用プラグに適したネジでφ 5 取付穴を用い、ワッシャーを介して固定する。

天井取付けの場合
下部 2 か所のφ 5 補助取付穴を含めた 6 か所をネジで固定する。

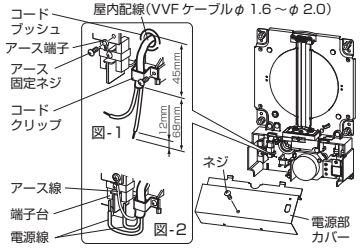
上下逆取付けの場合
壁に上下逆取付けをした場合は、左図のように 2 か所の穴と底面をすき間のないように市販のアルミテープでふさぐ。（電源部水浸入防止）

上下逆取付けの場合



電気工事

1. コードクリップのネジをはずす。
2. 屋内配線（VVF ケーブルφ 1.6 ～φ 2.0・皮ムキ長さ 12mm）は外皮を 68mm むき、コードブッシュから 45mm 残す。（図 -1）
3. 屋内配線の外皮部分をコードクリップで固定する。（図 -1）
4. 電源線を図のように曲げて端子台に根元まで確実に差し込む。（図 -2）
- レンジフードファンと連動する場合は、下記の結線図を参照して結線をする。
5. はずしたネジを使い、電源部カバーを元通り取付ける。
- **電動ドライバーは使用しないでください。**

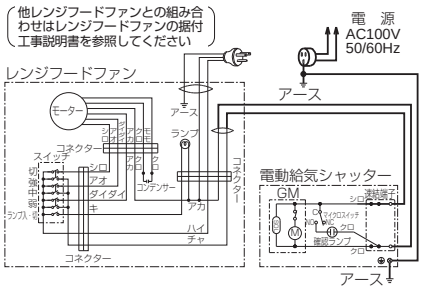


お願い
- **アース工事の際は、単線φ 1.6 またはより線 1.25mm² をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210 をご使用ください）**

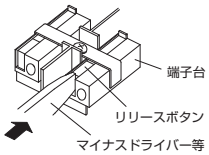
結線図

■太線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

三菱電機製の KL-BL タイプのレンジフードファンを使用した場合



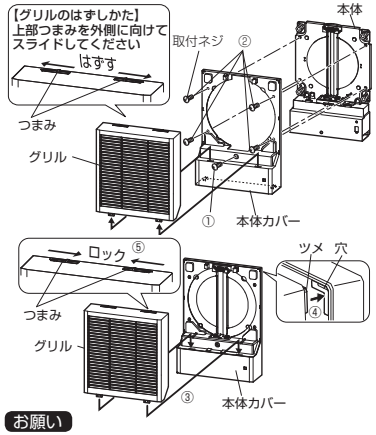
端子台から屋内配線をはずす場合
- **端子台のリリースボタンを下図の矢印の方向からマイナスドライバー等で押してください。**



試運転

レンジフードファンやダクト換気扇が運転を開始すると、この電動給気シャッターが連動して開き、自然給気を行います。また、シャッターが開いた場合、確認ランプが点灯します。停止すると連動してシャッターが閉じて、確認ランプが消灯します。

本体カバー・グリルの取付け



お願い
- **上部のつまみを内側にしたまま取付けるとつまみの変形、破損の可能性がありますので必ず外側にした状態で取付けてください。**

1. グリル上部の左右のつまみを外側に移動する。
2. グリルを上側へ引き抜く。
3. 本体カバーを本体に取付ける。
4. 本体カバーを付属の取付ネジで本体に固定する。
   ①下部 1 か所を付属の取付ネジ（4 × 10）1 本で固定する。
   - **電動ドライバーは使用しないでください。**
   ②上部 4 か所を付属の取付ネジ（4 × 8）4 本で固定する。
5. グリルを取付ける。
   (1)グリル下側を本体カバーに差し込む。（③）
   (2)グリルを両手で押さえ、グリル側面にあるツメ 4 か所を本体カバーの穴上下 4 か所に押し込む。（④）
   - グリル部と本体カバーとの間に浮きがある場合は、グリルを押さえ、ツメが入るまで確実に押し込む。
   (3)グリル上部の左右のつまみを内側に移動し、ロックする。（⑤）